

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134022107	生徒指導論	山田 陽平		教職	2	選択	2後期

科目の概要

生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。本科目では、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献できる家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってもらいたい。

学修内容	到達目標
① 教育課程における生徒指導の位置付けを学ぶ。 ② 各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を学ぶ。 ③ 集団指導・個別指導の方法原理を学ぶ。 ④ 生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方や違いを学ぶ。 ⑤ 学級・教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を学ぶ。 ⑥ 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を学ぶ。 ⑦ 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を学ぶ。 ⑧ 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を学ぶ。 ⑨ 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を学ぶ。 ⑩ インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を学ぶ。	① 教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。 ② 各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。 ③ 集団指導・個別指導の方法原理を理解している。 ④ 生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方や違いを理解している。 ⑤ 学級・教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。 ⑥ 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。 ⑦ 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。 ⑧ 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 ⑨ 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 ⑩ インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	学習内容を自分に関係づけて理解しようとする。
	働きかけ力	
	実行力	自分の学修目標を設定し、学習過程をモニターし、状況に合わせて調整する。
考え抜く力	課題発見力	理解できていない箇所を把握し、どうすれば理解できるかを考える。
	計画力	
	創造力	学習内容を自分独自の経験と関連づけて自分にしか生み出せない理解を構築する。
チームで働く力	発信力	自分の考えを自分の言葉で述べる。不明な点を質問して解消する。
	傾聴力	テキストの内容を理解できるまで繰り返し読む。他者の話を理解しようと聞く。メモを取る。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業のルールを理解し、課題の提出期限を守る。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト①：生徒指導提要 文部科学省 教育図書
 テキスト②：新しい生徒指導の手引き 諸富祥彦 図書文化

他科目との関連、資格との関連

「生徒指導論」は教職に関する科目であり、「教育心理学」で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「進路指導論」「教育相談」の基盤となる科目である。
 中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
テキストの内容を中心に学習する。 書き込んだり、まとめようとしていたり することで理解しやすくなる。 自分の経験と関係づけて考えると理解が深まる。	予習としてテキストを読んでくることを前提に授業を展開する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	⑥				
			②	⑦				
			③	⑧				
			④	⑨				
			⑤	⑩				
	平常評価	小テスト	30	①	✓	⑥	✓	到達目標に応じた小テストを課す。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
		レポート	15	①	✓	⑥	✓	到達目標に応じたレポート課題を課す。 ・生徒指導の意義や原理を理解しているかを評価する（①から④に対応）。 ・すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解しているかを評価する（⑤から⑦に対応）。 ・児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解しているかを評価する（⑧から⑩に対応） レポートを提出しない場合は不可とする。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓	⑥	✓	①予習課題15点(1回1点×15回) 1点:課題の指示に従っている。 0点:不足がある。 ②授業中および授業後の演習課題 30点(1回2点×15回) 2点:課題の指示に従っている 1点:やや不足がある。 0点:かなり不足がある。 遅刻提出には以下の条件で通常の評価点を与える。 ・改善案を示した。 ・2回までに限る。 3回目以降は評価しない。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	以下の七つの観点それぞれに対して、提出物で評価する。 ・学習内容を自分に関係づけて理解しようとする。(主体性) ・自分の学修目標を設定し、学習過程をモニターし、状況に合わせて調整する。(実行力)・理解できていない箇所を把握し、どうすれば理解できるかを考える。(課題発見力) ・学習内容を自分独自の経験と関連づけて自分にしか生み出せない理解を構築する。(創造力) ・自分の考えを自分の言葉で述べる。不明な点を質問して解消する。(発信力) ・テキストの内容を理解できるまで繰り返し読む。他者の話を理解しようと聞く。メモを取る。(傾聴力) ・授業のルールを理解し、課題の提出期限を守る。(規律性)	
			②	✓	⑦	✓		
			③	✓	⑧	✓		
			④	✓	⑨	✓		
			⑤	✓	⑩	✓		
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S 評価:小テスト・レポート・成果発表の課題・社会人基礎力において 9 割以上の得点率</p> <p>A 評価:小テスト・レポート・成果発表の課題・社会人基礎力において 8 割以上の得点率</p>	<p>B 評価:小テスト・レポート・成果発表の課題・社会人基礎力において 7 割以上の得点率</p> <p>C 評価:小テスト・レポート・成果発表の課題・社会人基礎力において 6 割以上の得点率</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	生徒指導の意義と原理(1) ・生徒指導の意義と課題 ・教育課程における生徒指導の位置付け ・生徒指導の前提となる発達観と指導観	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	生徒指導の意義と原理を説明できる。	予習：テキスト第1章第1節から第3節までを読んでくる。 復習：課題に回答する。 予復習課題の内容は到達レベルC(可)の基準に書いてあるものを基本とし、進行状況にあわせて適宜追加修正を指示する。15週まですべて同様とする。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	生徒指導の意義と原理(2) ・集団指導・個別指導の方法原理 ・学校運営と生徒指導	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	生徒指導の意義と原理を説明できる。	予習：テキスト第1章第4節から第5節までを読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	教育課程と生徒指導	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	教育課程における生徒指導の位置付けを説明できる。	予習：テキスト第2章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	児童生徒の心理と児童生徒理解	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	児童生徒の心理的特徴と児童生徒を理解する方法を説明できる。	予習：テキスト第3章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学校における生徒指導体制	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	学校における生徒指導体制を説明できる。	予習：テキスト第4章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	教育相談(1)	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	教育相談体制の基本的な考え方と生徒指導との違いを説明できる。	予習：テキスト第5章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	教育相談(2)：構成的グループ・エンカウンター	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。	予習：生徒指導提要 pp.107-109, 配付資料を読む。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	生徒指導の進め方(1) 児童生徒全体への指導	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を説明できる。	予習：テキスト第6章「Ⅰ児童生徒全体への指導」を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	生徒指導の進め方 (2) 個別の課題を抱える児童生徒への指導	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態を説明できる。	予習：テキスト第6章「Ⅱ 個別の課題を抱える児童生徒への指導」を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	予習：テキスト第6章「Ⅱ 個別の課題を抱える児童生徒への指導」を読んでくる。 復習：課題に回答する。	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版の結果をもとに、いじめの現状について説明し、そのデータに基づいて考えられるいじめの対応について述べるができる。	予習：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から「いじめの結果」を読み取ってくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	いじめ (2) 出身校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの対応の三つのポイントである未然防止、早期発見、措置（早期対応）とは何をすることなのかを学ぶ。加えて、他校との共通点、相違点について学ぶ。	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	出身校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの対応の三つのポイントである未然防止、早期発見、措置（早期対応）を説明できる。加えて、他校との共通点、相違点について説明できる。	予習：「いじめ防止対策推進法」を読んでくる。出身校の「いじめ防止基本方針」を読み、いじめの対応の三つのポイント（未然防止、早期発見、措置）ではそれぞれ何を必要があるかをまとめる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	不登校 (1) 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から不登校の現状を学ぶ。	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版の結果をもとに、不登校の現状について説明し、そのデータに基づいて考えられる不登校の対応について述べるができる。	予習：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から「不登校の結果」を読み取ってくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	不登校 (2) 不登校の対応として、不登校になってしまったからの対応よりも、未然防止や初期対応が重要であることを学ぶ。	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	なぜ不登校になってからの対応では足りないのか。なぜ不登校になる前の対応が必要なのかを説明できる。根拠となる情報を資料から正確かつ丁寧に引用し、加えて不登校になる前の対応についての例を挙げることができる。	国立教育政策研究所発行の以下の資料を読み、不登校の問題を解決するためには、未然防止や初期対応が重要である根拠を読み取る。 資料①「不登校・長期欠席を減らそうとしている教育委員会に役立つ施策に関するQ&A」、資料②「生徒指導リーフLeaf. 14不登校の予防」 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	生徒指導に関する法制度等	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	生徒指導に関する法制度等を説明できる。	予習：生徒指導提要第7章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	学校と家庭・地域・関係機関との連携	講義 グループ討議 Google meet Notion miro	学校と家庭・地域・関係機関との連携を説明できる。	予習：生徒指導提要第8章を読んでくる。 復習：課題に回答する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力